

「サステナビリティレポート2010」の概要（掲載項目順）

1．トップコミットメント（4～5頁）

現代社会において欠かすことのできない電気を、安全に安定的にお届けするという東京電力グループの最も重要な社会的責任に加え、「低炭素時代をリードする」という新たな社会・環境貢献を通じた、ゆたかで快適な環境の実現に向けた取り組みなどについて、社長のメッセージを掲載しています。

2．特集「東京電力グループ中長期成長宣言2020ビジョン」（6～13頁）

経営理念に掲げる「ゆたかで快適な環境の実現」のために、2020ビジョンのもとで目指す経営の方向性である経営指針や具体的なアクションプラン「7つのバリューアップplan」等について報告しています。

3．安定供給編「サステナビリティの実現に向けて」（16～19頁）

エネルギーを取り巻く「安定性」「環境性」「経済性」のバランスを考慮して電源を組み合わせる「電源のベストミックス」や、品質の高い電気を安定してお届けするための取り組みについて報告しています。

4．経営編「東京電力の経営とCSRの実践」（20～27頁）

当社における事業運営の核となる、経営マネジメントやリスク管理、企業倫理遵守の徹底に向けた取り組みなどについて報告しています。

5．環境編「東京電力グループの環境への取り組み」（28～51頁）

低炭素社会の実現に向け、「地球温暖化対策」を中心に「電気を『つくる』、『つかう』」の両面の取り組みとともに、尾瀬の保護活動など生物多様性の保全に向けた取り組みなども報告しています。

6．社会編「東京電力グループと社会との関わり」（52～67頁）

お客さまや地域社会の皆さまをはじめとした、当社を取り巻く方々との関わりについて、具体的なコミュニケーション活動を報告しています。

7．原子力編「東京電力と原子力発電」（68～73頁）

災害に強く安全・安心な原子力発電所の構築や原子燃料サイクルの確立に向けた取り組み、更には原子力発電の環境特性など、原子力に関わるトピックスを中心に報告しています。

また柏崎刈羽原子力発電所の復旧状況についても報告しています。

8．2009年度のCSR活動と2010年度の展開予定（74～75頁）

活動をより充実させるために、各分野の取り組みをCSRの観点から整理しており、2009年度の目標・実績と2010年度の展開予定について報告しています。

9．第三者意見（76～77頁）

新潟県中越沖地震後の当社の取り組みや地球温暖化対策、サステナビリティへの取り組みについて、社外有識者により構成される「東京電力環境顧問会」からいただいたご意見と、当社の回答を紹介しています。

以上